

# 環境経営レポート

2023年度（2023年9月～2024年8月）第56期



日本ロール紙 株式会社

発行日 2024年12月16日

## 目次

1、	環境経営方針	2
2、	組織の概要	3
3、	実施体制	4
4、	環境経営目標	5
5、	主要な環境経営活動計画の内容	6
6、	経営目標の達成状況と実績	7
7、	取組結果とその評価と次年度の取組内容	8
8、	環境関連法規等の遵守状況	9
9、	代表者による全体の評価と見直し・指示	10
10、	社内の取組み（写真）	11

## 1、 環境経営方針

日本ロール紙 株式会社は、情報用紙・ロール紙の製造・販売を主体とする事業活動を通じて、原材料や製造方法が地球環境に大きく影響を与えていることを常に認識し、将来の生活環境を守る為に、全従業員に環境方針を周知徹底し、地球環境保全における社会的責任を果たすことを誓います。

1. 環境経営システムを構築し、経営的課題を踏まえて次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減（省エネルギー）
- ② 廃棄物排出量の削減（リサイクル化）
- ③ 総排水量の削減（節水）
- ④ 化学物質の管理
- ⑤ グリーン購入
- ⑥ 商品包装材の軽量化

2. 環境関連法令を遵守すると共に、行政・団体・地域社会における環境保全活動にも積極的に協力します。

3. 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

4. 環境経営の取組み状況について、定期的に検証し継続的改善を図っていきます。

作成日 2007年10月26日

改定日 2019年10月29日

日本ロール紙 株式会社

代表取締役 松下 孝和

## 2、組織の概要

### 1) 事業所及び代表者名

日本ロール紙 株式会社 1968年9月設立、資本金3,200万円  
代表取締役 松下 孝和

### 2) 所在地

本社・本社工場 〒816-0921 福岡県 大野城市 仲畑 1-4-1  
第二工場 〒816-0921 福岡県 大野城市 仲畑 1-1-2  
大阪連絡所 〒556-0006 大阪市 浪速区 日本橋東 3-15-17

### 3) 環境管理責任者及び担当連絡先

責任者 業務部 清水 佑輔  
担当者 製造部 主任 松尾 昌信 (EA21 委員長)  
TEL (092)591-9251 FAX (092)591-9255  
E-mail: n-roll@roll.co.jp

### 4) 事業の内容

ロール紙製造、ロール紙及び紙製品の販売

### 5) 事業の規模

当社の事業年度は、9月～翌年8月です。

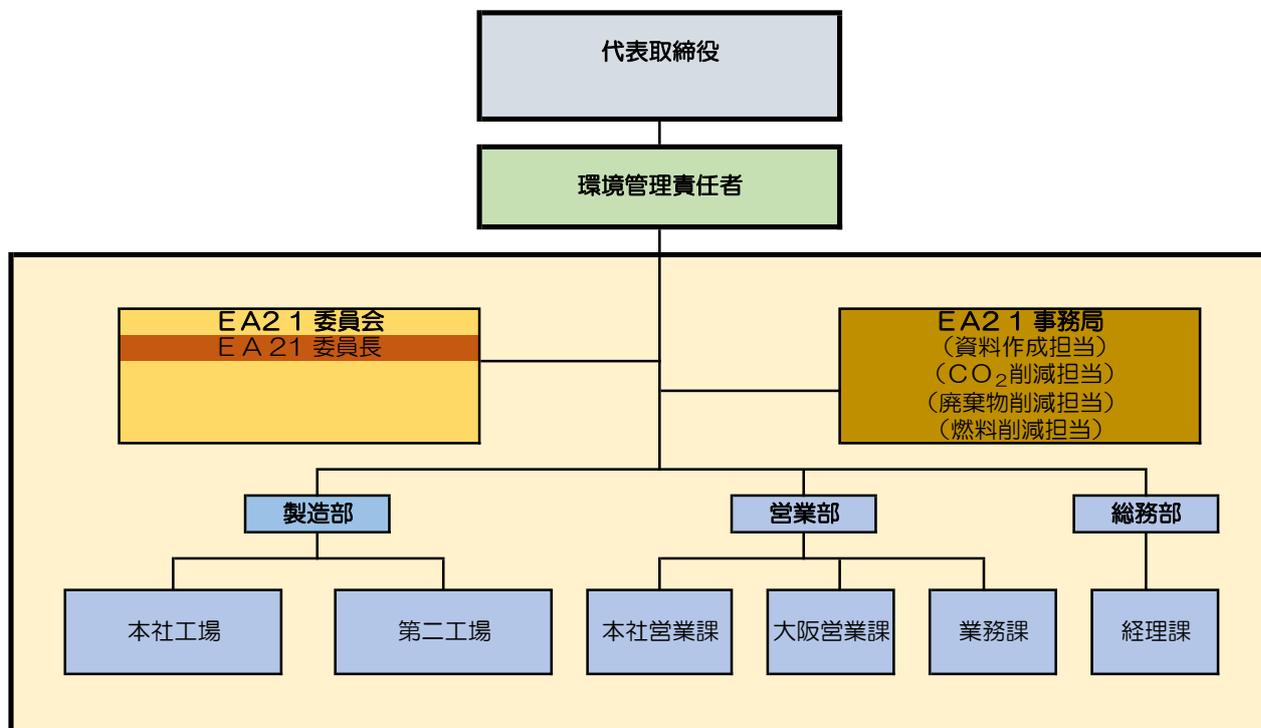
	単位	2021年度(54期) (2021.9~2022.8)	2022年度(55期) (2022.9~2023.8)	2023年度(56期) (2023.9~2024.8)
売上高	百万円	735.5	783.9	769.3
従業員数	人	21	21	20
床面積	m <sup>2</sup>	1,712	1,712	1,712

### 6) 対象範囲

全組織、全活動

### 3、E A 2 1 実施体制

2023年度（2023年9月～2024年8月）第56期



#### 役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表取締役	環境方針の策定・全体の評価と見直し・環境目標及び環境活動の承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築と維持管理・環境目標及び環境活動計画の策定とその実績把握と報告・環境活動レポートの作成 環境文書及び記録の作成、管理・環境関連法規の取りまとめ
E A 2 1 委員長	環境目標及び環境活動計画の結果確認、状況報告、審議及び更なる環境負荷改善対策の提案
E A 2 1 事務局	電力の管理・燃料（ガソリン）・廃棄物の排出量の管理及び書類の作成
全従業員	エコアクション21 環境活動への取組み

#### 4、環境経営目標

環境経営目標	2022年度(55期) 2022年9月～ 2023年8月			2023年度(56期) 2023年9月～ 2024年8月		2024年度(57期) 2024年9月～ 2025年8月		2025年度(58期) 2025年9月～ 2026年8月	
	基準			目標(-1%)		目標(-2%)		目標(-2.5%)	
	実績値	売上高 百万円当り	単位	目標値	売上高 百万円当り	目標値	売上高 百万円当り	目標値	売上高 百万円当り
		783.9							
1. 二酸化炭素排出量の削減									
電気使用量 ※1	112,037	142.92	kwh	110,917	141.49	109,796	140.06	109,236	139.35
LPGガス	6	0.01	kg	6	0.01	6	0.01	6	0.01
ガソリン	6,592	8.41	L	6,526	8.33	6,460	8.24	6,427	8.20
二酸化炭素総排出量	59,900	76.41	kg-Co2	59,301	75.65	58,702	74.88	58,403	74.50
2. 廃棄物排出量									
一般廃棄物排出量の削減	21,654	27.62	kg	21,437	27.35	21,221	27.07	21,113	26.93
可燃ごみ	839	1.07	kg	831	1.06	822	1.05	818	1.04
不燃ごみ ※2	8	0.01	kg	8	0.01	8	0.01	8	0.01
再生利用	20,807	26.54	kg	20,599	26.28	20,391	26.01	20,287	25.88
3. 水使用量 ※3	144	0.18	m <sup>3</sup>	143	0.18	141	0.18	140	0.18
4. 有害科学物質の不使用 ※4	適正管理			適正管理		適正管理		適正管理	
5. グリーン購入 ※5	積極購入		種	積極購入		積極購入		積極購入	
6. 包装材の軽量化 ※6	軽量化推進			軽量化推進		軽量化推進		軽量化推進	

※今年度 目標数値

- ※ 基準年度を2018年度に変更しました。
- ※1 ミツウロコグリーンエネルギーの2023年度調整後排出係数(0.389kg-Co2/kwh)を使用しました。
- ※2 目標値の設定がなかった(基準年度が0kgだった)為、10kg以下という設定にしました。
- ※3 水使用量については、対売上高(百万円当り)とする。
- ※4 ・有害物質は使用しない。 ・メーカーより化学物質の安全シートを入手し、安全を確認する。  
・インク使用量は少量であるが、使用状況を確認する。
- ※5 ・グリーン購入ネットワークの会員でもあり、率先して取り組む。  
・文具購入は、エコマーク、グリーン購入製品を増やす。
- ※6 会社として取り組むべき検討目標であり、数値化は出来ないが軽量化に努めている。

## 5、主要な環境経営計画の内容

### 1) 二酸化炭素排出量の削減 (省エネルギー)

#### ①電気使用量の削減

電気使用量の削減
活動計画： ① エアコンは気温・湿度に適した温度設定を行う。 ② 事務所内のOA機器の待機電力を減らす。 ③ 工場の扉やカーテンの開閉時間を調節し冷暖房効率を図る。 ④効率的な業務を意識し、時間外の電気使用量を減らす。

#### ②化石燃料使用量の削減

ガソリン使用量削減
活動計画： ① 車両の点検整備をし、余裕を持った安全運転を心掛ける。

### 2) 廃棄物排出量の削減 (リサイクル化)

廃棄物排出量の削減
活動計画： ① 「上質紙、感熱紙、ポリ、一般ゴミ」を分別し、決められた場所に集めリサイクル促進する。 ② タブレット端末の導入や回覧などで配布資料を減らす。

### 3) 水使用量の削減 (節水)

水使用量の削減
活動計画： ① トイレ等水回りを清潔に保ち、節水する。

### 4) 有害化学物質の管理

有害物質含有率の調査	適正管理 有害化学物質は使用しない。
活動計画： ① 材料メーカーより化学物質の安全シートを入手し、安全を確認する。 ② 納入先より有害物質非含有の証明書の提出依頼があった場合には、含有量が基準値未満である事を証明し、早急に書類提出に応じる。 ③インク使用量は少量であるが、計量すると共に保管状況を確認する。	

### 5) グリーン購入

エコ商品の利用促進	優先して採用する。
活動計画： ① エコマーク、グリーン購入商品を調べて積極的に購入する。 ② 日用品などでも環境マークのついた物をなるべく選ぶ。 ③ 仕入れ先メーカーに相談、製品の提案頂く場を設ける。	

### 6) 商品包装材の軽量化

製品規格の見直し	出来るところから包装資材の軽量化を進める
活動計画： ① 仕上工程において仕様を見直し、副資材の簡素化を提案する。 ② 包装用ポリ袋の材質や厚みを変えることで、重量を減らす。 ③ 製品の適正数量の提案をする。 ④ 購入する原材料の仕様を変更し、端材等の削減に取り組む。	

### 7) 全体の問題点の把握と是正 (省エネルギー・リサイクル化・節水)

計画目標の達成	環境マネジメントの構築・環境教育の徹底
活動計画： ① 無駄のリストアップ・発生原因を究明し見直す。 ② 5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の継続的推進 ③ 『混ぜればゴミ,分ければ資源』と教育・指導。	

6、環境経営目標の達成状況と実績

環境経営目標	2021年度(54期) 2021年9月～ 2022年8月		2022年度(55期) 2022年9月～ 2023年8月		2023年度(56期) 2023年9月～ 2024年8月		達成状況		
	売上高 (百万円)	735.5		783.9		769.3		対目標	評価
		実績		実績		実績			
	単位	実績値	百万円当り	実績値	百万円当り	実績値	百万円当り	%	
1. 二酸化炭素排出量の削減									
電気使用量 ※1	kwh	119,961	163.09	112,037	142.92	114,418	148.73	103.0	×
LPGガス	kg	8.49	0.01	5.59	0.01	5.80	0.01	96.6	○
ガソリン	L	5,919.5	8.05	6,591.6	8.41	4,652.0	6.05	71.2	○
二酸化炭素総排出量	kg-Co2	72,909	99.12	70,554	90.00	55,161	71.70	93.0	○
2. 廃棄物排出量									
一般廃棄物排出量の削減	kg	20,566	27.96	21,654	27.62	24,070	31.29	112.0	×
可燃ごみ	kg	705	0.96	839	1.07	805	1.05	96.8	○
不燃ごみ ※2	kg	13	0.02	8	0.01	15	0.02	187.5	×
再生利用	kg	19,848	26.99	20,807	26.54	23,250	30.22	112.8	×
3. 水使用量	m <sup>3</sup>	141	0.19	144	0.18	142	0.18	99.3	○
4. 有害科学物質の不使用 ※3		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理		○
5. グリーン購入 ※4	積極購入	積極購入		積極購入		積極購入			○
6. 包装材の軽量化 ※5		軽量化 推進	軽量化 推進	軽量化 推進	軽量化 推進	軽量化 推進	軽量化 推進		○

※ 基準年度を2018年度に変更しました。

※1 ミツウロコグリーンエネルギーの2017年度調整後排出係数(0.389kg-Co2/kwh)を使用しました。

※2 目標値の設定がなかった(基準年度が0kgだった)為、10kg以下という設定にしました。

※3 ・有害物質は使用しない。 ・メーカーより化学物質の安全シートを入手し、安全を確認する。  
・インク使用量は少量であるが、使用状況を確認する。

※4 ・文具購入は、エコマーク、グリーン購入製品を増やす。

※5 会社として取り組むべき検討目標であり、数値化は出来ないが軽量化に努めている。

## 7、取組結果とその評価と次年度の取組内容

### ① 二酸化炭素排出量の削減

今年は猛暑の影響により、エアコンの使用期間が大幅に増えた。節電には事務所、工場も最大限務めたが、結果として目標値を達成することができなかった。ガスの使用は、必要最低限に抑えているので削減できている。第二工場的气体器具を最新のものに交換した。わずかだが冬季の削減効果に期待できる。ガソリン使用量については、燃費の良い車への切り替えが進んでおり削減にも繋がった。ただ、来期以降は営業活動が活発化して行く為、ガソリンの使用量は増加となる見込み。営業に対してはエコドライブを意識するよう呼び掛けていく。

### ② 廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量については、回収業者の選定が進み、ストレッチフィルムの回収が進んでいる。また2025年度より回収業者内で開発した、新製品のリサイクルストレッチフィルムを第一工場を導入する。活動上の数字としては計上できないが、製品内に50%リサイクル素材が使用されている。燃えるゴミについては、細かく分別して少しでもリサイクルに回せるよう、社員全体で取り組んでいる。ペットボトルのキャップ回収もわずかではあるが継続している。

### ③ 水使用量の削減

水の使用量は、目標達成にわずかに届かなかった。常に必要最小限度の、使用量で節水には努めている。水道使用後の蛇口の閉め忘れがないか確認するよう呼びかける。

### ④ 化学物質の管理

化学物質の管理において、材料メーカーより安全シートを入手し有害化学物質を使用していないことを確認している。納入先より有害物質非含有の証明書の提出依頼がある都度を確認し、今後も提出していく。

### ⑤ グリーン購入

文具類は、グリーン購入法マークのついた物を優先的に選んでいる。その他の日用品においても環境マーク入りや、詰め替え製品を積極的に購入し使用している。これらの取り組みは変えることなく継続している。

## 8、環境関連法規等の遵守状況

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物、産業廃棄物の排出に関して
騒音規制法	コンプレッサー、スリッター機からの騒音防止
消防法	消防設備等（特殊消防用設備等）の点検と報告義務
下水道法	公共下水道の使用に関して、適合外の下水排除禁止
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	容器包装廃棄物、排出抑制の取組実施状況を報告
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検記録簿の記録

9月に環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 9、代表者による全体の評価と見直し・指示

### 1. 全体の評価

- 環境方針から実施体制の確立を終え、年度計画を立案して環境保全活動は継続して行っている。更に必要に応じて随時見直しを指示する。
- 社内における活動は活発に行われており、目標数値をおおよそ達成できている。
- 分別・計量等は問題なく実行できている。
- 産廃業者へフィルムの回収を依頼し、リサイクルできている。  
来年度よりリサイクル素材のストレッチフィルムを採用。環境に優しい製品を使用していく。
- 仕入先に包装の簡素化や割合を減らす等の提言は継続しており、廃棄物の発生を抑えていくよう取引先と共に検討している。
- エコアクション勉強会、防災訓練を今期は実施。来年度も実施予定。

### 2. 見直し・指示

- 営業活動が少しずつ活発化してきている。来年度はガソリン使用量の増加が見込まれる。  
営業車を利用する各営業に対しては、エコドライブの意識を改めてもらおう。
- 環境活動計画の手段については今のやり方を継続し、業務に支障が出ないよう工夫・改善をしていく。
- システム運用の標準化を図っていくために、更なる作業の再確認や安全性にも留意し行うようにする。
- 省エネ製品の買換えは、今後も問題点も見据えて考慮していく。今季はガス給湯器の更新を行った。
- 指示の統一により、処理の徹底化を継続する。

### 3. その他の取組の紹介

- EA21の取組についてはEA21のHP内の環境経営レポートとして紹介している。
- 当社は、大野城市役所のごみ減量・リサイクル優良事業所の認定（2023/4/1～2025/3/31）及び、表彰を受けている。
- このことは社員にとっても誇りであり、エコアクション21と共に環境負荷軽減に今後も尽力していく。

## 10、社内の取組



工場に緑を取り入れています  
(緑化条例)



本社事務所と本社工場



第2工場



ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいます



大野城市ゴミ減量・リサイクル  
優良事業所認定を受けています



機械音  
近隣にも配慮を  
しています



エコアクション21の認定  
登録も14年を越えました



社内会議でもECOの意識！



節電や節水にも努力しています